



6・18抗議行動、最後のシュプレヒコール

で頑張っておられる方々と集まり情報を得て、意見交換し充電することの大切さを再認識した。特に、いつものMさんの小柄だが全身ふりしぼつ

6月20日、美浜でのアンケート調査に参加 福井の皆さんの意気込みを感じながら

オール福井反原発連絡会は、街頭宣伝、チラシの新聞折り込み、福井県知事に対する美浜3号機再稼働同意撤回を求める署名、美浜町全戸アンケート配布などの、美浜原発3号機反対運動を展開されてい

ナ禍の今こそ廃炉」である。若狭の原発で事故があれば、現地からの避難者を受け入れつつ私たちも避難しなければいけない、どこに避難しても密であり、クラスターが発生するであろう。避難は到底無理であると声を上げている。

また先日は、姫路・高砂・加古川市と加古郡の3市2町に「関西電力の運転開始後40年を超える原発の再稼働反対表明と原発事故避難者受け入れについて」の申し入れを行った。前回と比べ職員の意識も落ちていることを感じた。が、やれることから地道に行動に移していくしかない。

最後に、今日のように各地

6月19日、20日はアンケート配布行動でした。「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、関西から有志12人を募って、20日の配布行動に参加しました。12時に集合場所のJR美浜駅に到着。続々と嶺南地区の方々等が結集され、30余名の人員での行動となりました。福井の皆さんの意気込みをひしひしと感じました。

てのコールにパワーをいただいて帰路に着いた。
(脱原発はりまアクション 宮寄やゆみ)

配布物は①アンケートのお願い文、②アンケート、③老朽原発の危険性を訴えるチラシ、④返信用封筒がビニール袋にセットされていました。このセット作業もオール福井の皆さんの手作業でされてい



美浜駅前ではアンケート配布の打ち合わせ

ます。配布する地域とその範囲の地図も人数分用意され、完璧な事前準備がされていました。

アンケートは、美浜3号機の再稼働を前に、美浜町民に、老朽原発再稼働の問題点を訴え、共感を呼び覚ませるようなものをと考えられています。が、やはり住民の率直な思いを知りたいという、同じ原発立地の悩みを抱えた人だからこそ考えられたアンケート内容となっていました。アンケート結果は、新聞折込でお知らせするということです。

「数は力なり」です。30人もの手と足でポスティングすれば、短時間で終わります。

大阪地裁に老朽美浜3号機 運転禁止仮処分を申し立て！

昨日、大阪地裁に老朽原発美浜3号機の運転禁止を、求める仮処分の申し立てが行われました。(詳細の報告は、次号に。)



関西から参加した有志は、いつもアメーバデモでチラシ配布している経験が活かされ、お馴染みの地区に、次々と配布を終えました。福井の皆さんと、関西の私たちが共に、力を合わせて行ったアンケート配布は、充実と連帯を感じることができると貴重な時間となりました。その後、関西の有志は、17日の美浜でのアメーバデモで未配布の地域にチラシを配布し、美浜原発3号機の再稼働が画策されている23日には、各地から総力を結集して阻止行動を展開することをみんなで確認しあつて、帰路につきました。

(実行委員会 橋田)